

道徳教育研究会

研究テーマ

ふるさとを愛する児童生徒の育成

— 「地域教材の開発」を核とした指導方法の工夫 —



1 はじめに

平成28年度の設置以来、本研究会では「教育活動全体を通じた道徳教育の充実」「系統性を踏まえた指導の充実」「子ども一人一人の成長を『認め励ます』評価の工夫」等をテーマに研究を進めてきた。これらの研究の推進や、各学校での道徳科の授業改善の成果もあり、全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙調査の結果を見ると、本市の児童生徒の規範意識や自己有用感は、全国と比較して高い傾向を示している。

一方で、「地域や社会のために何をすべきかを考えることがある」の質問項目における肯定的回答の割合は低く、全国平均を下回った年も見られた。中学校区での地域連携部会の取組やふるさと学習の推進により、直近5年間の状況を見ると改善傾向にあるものの、肯定的回答割合は半数程度に留まっている。

これらの実態を受け、本研究会では、令和2年度から指導方法の工夫の1つとして「地域教材の開発」をテーマに研究を進めている。令和5年度は、令和4年度までに開発してきた教材の見直しと授業実践を行った。

2 研究の内容

(令和2年度)

- ・教材作成の方針、題材の検討

(令和3年度)

- ・教材に取り上げる題材の選定
- ・教材の素案作成

(令和4年度)

- ・教材の作成
- ・関連資料の作成

(令和5年度)

- ・授業活用例の作成
- ・授業実践を通じた教材の見直し

3 研究の実践（令和3年度～令和5年度）

(1) 題材の選定

児童生徒の発達の段階に即した内容、扱う内容項目、南河内・石橋・国分寺地区のバランス等を考慮し、教材としての活用効果が期待される題材について検討した。

選定した題材（令和3～4年度）

【特産物】かんぴょう（しもつけいっぱいdayの給食献立）

【史跡】淡墨桜、一里塚、下野薬師寺、

【施設】大松山運動公園、グリムの館、ドナルド・マクドナルド・ハウス

【人物】岩崎弥太郎

(2) 教材の作成

題材の決定後、学習指導要領で示された発達の段階の区分と同様に、小学校第1・2学年、小学校第3・4学年、小学校第5・6学年、中学校の区分ごとに教材の作成を進めた。

作成にあたり留意したこと

- ・ 道徳科のねらいを達成することを目的とし、かつ、地域について理解を深めたり、関心をもつきっかけとなったりするものとする
- ・ 児童生徒が物事を多面的・多角的に考えることができるものであること
- ・ 特定の価値観を押し付けるものとならないこと

「特別の教科 道徳」では、児童生徒が一面的・一方的な見方に偏らず、多面的・多角的な視点から物事を捉え、考えることが求められている。作成の際は、作成者の思いを大切にするとともに、上記の点に留意した。また、学級の実態に応じて多様な活用ができるよう、主とする内容項目を設定しつつ、教材の中に複数の内容項目が含まれるよう工夫を重ねてきた。

【作成した教材の一例】

「いいこと見つけた」(淡墨桜を題材とした教材)

(小学校第1・2学年向け教材) 内容項目：C(15)伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度

いいこと見つけた

明日は、家族で天平の丘公園に行く日です。なぜなら、「天平の花まつり」が始まったからです。

「お母さん、明日はお出かけだね。「天平の花まつり」って、どんなことをやっているのかな。」

絵里子が「天平の花まつり」に行くのは初めてです。絵里子が聞くと、

「おいしい食べ物のお店があるそうよ。地域の方たちが手作りしているおまんじゅうがおいしいらしいの。ほかには、ステージでショーや発表もあるそうよ。それに、桜の花がとてもきれいにさいているんだって。」

と、お母さんが教えてくれました。

「へえ。わたしは、ショーを見たいなあ。ほかには、どんなことをしようかなあ。」

あれこれと明日のことを考えている絵里子の顔は、笑顔になっていました。

次の日、天平の丘公園に着いた絵里子は、びっくりしました。自分が考えていたよりもたくさんの人がいたからです。会場に向かっていくと、大きな桜の木の周りに大ぜいの人が集まっています。カメラをかまえて写真を撮る人がたくさんいます。絵里子は、思わず桜の木に走りよりました。近くで見るともっと大きく見えます。

「この桜の木は『淡墨桜』と言うそうよ。一九八五年に、岐阜県の根尾村というところからやってきた桜の木なんだって。」

と、淡墨桜をながめている絵里子にお母さんが教えてくれました。

淡墨桜の枝は、大きく広がっていて、下から見上げている絵里子をやさしくつつんでくれるようです。

この日に絵里子が見た「淡墨桜」の花の色はうすい桃色でしたが、ちるときの花の色はうすい墨色に変わるそうです。天平の花まつりでショーをみることを楽しみにしていた絵里子でしたが、ほかにもいいことを見つけてにっこり笑顔でうれしそうです。

「お母さん、また来ようね。」

(3) 授業活用例の作成

教材の作成後、授業での活用に向け授業の展開例を作成した。授業活用例には、授業の展開例のほか、教材に取り上げた題材の説明や活用上の留意点、参考資料のURL等を記載した。

【作成した授業活用例】

教材名「いいこと見つけた」 主題名「自分のすむ町」

1 教材について

- ・下野市国分寺にある天平の丘公園には、約500本の八重桜や日本三大桜子孫木（三春滝桜・根尾淡墨桜・山高神代桜）などがあり、毎年3月下旬から5月上旬にかけて、「天平の花まつり」が開催されている。下野市の淡墨桜は、岐阜県根尾村（現本巣市）にある推定樹齢1500年以上とされている国天然記念物の桜の木を1985年に移植したものである。淡墨桜は、薄いピンクのつぼみから白い花が開き、散り際に淡い墨色に変わることから名付けられた。
- ・「天平の花まつり」は、毎年、3月中旬頃から4月末頃まで開催される地域のイベントであり、地元商店街の出店やステージでのショーなど多彩なプログラムが人気である。桜の種類が多いため、3月末の淡墨桜から4月末の八重桜まで、およそ1か月にわたって桜を楽しむことができる。

2 展開例

(1) ねらい

自分の住む地域の自然や文化に触れることによって、自分の体験と重ね合わせながら地域のよさを考え、地域や国に親しみをもって生活する態度を育てる。

[伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 C(15)]

(2) 展開（次ページ）

3 活用上の留意点等

- ・小学校低学年の児童にとっては、自分の住む市内のことであっても知らないことが多い。導入時に、市内の施設やイベント等の写真を提示し、題材への興味・関心を高める。
 - ・終末に「下野市ふるさとかるた」※を紹介する。楽しく遊びながら下野市のことを知るきっかけになる。
- ※平成20年に作成。絵札・読み札は、当時の下野市内小中学校の児童生徒から応募されたもの。

4 参考資料等

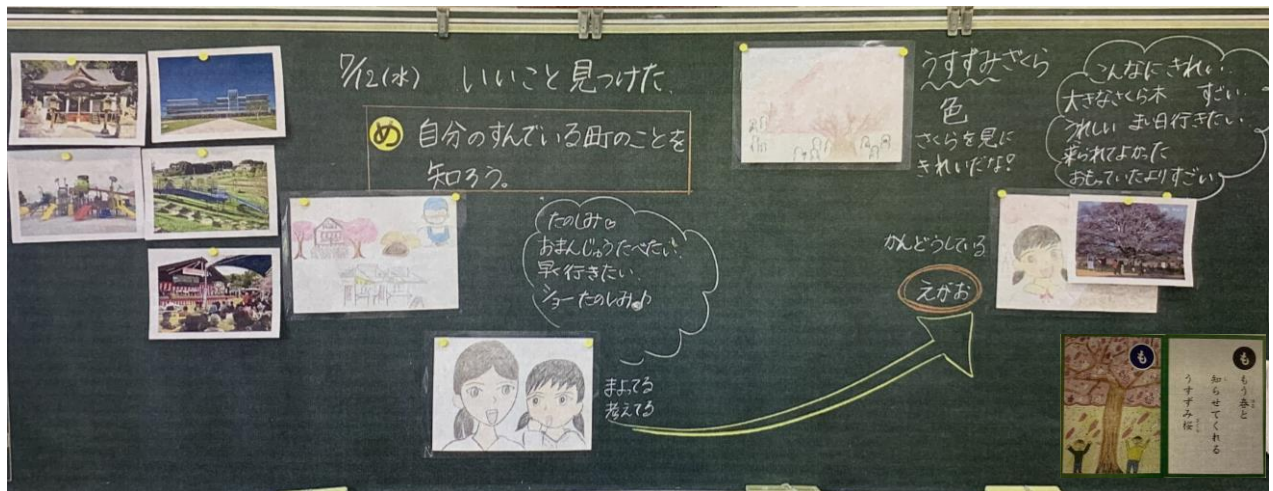
- ・下野市公式ホームページ 天平の花祭り
<https://www.city.shimotsuke.lg.jp/0387/info-0000001899-3.html>
- ・下野市観光協会 天平の花祭り
<http://www.shimotsuke-ta.com/?p=we-page-top-1>
- ・天平の風薫る下野国分寺周辺散策イラストマップ
<https://www.city.shimotsuke.lg.jp/manage/contents/upload/5b8515140bf98.pdf>
- ・岐阜県本巣市観光サイト 根尾谷淡墨ザクラ
<https://www.city.motosu.lg.jp/category/2-18-0-0-0-0-0-0-0.html>

展開略案

| 過程 | 学 習 活 動 ◎中心発問◎主な発問・予想される児童の反応 | 教師の支援・指導上の留意点 |
|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 導入 | <p>1 下野市の自然や施設、歴史的建造物、祭事、公園などの写真を見て知っていることを伝え合う。</p> <p>○何の写真かな。どんなことを感じたかな。気が付いたことがあるかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かんぴくん公園。行ったことあるよ。 ・知ってる！ ・おまつりだ。 ・神社だ。 ・お寺だ。 | <p>○5～6枚の写真を準備する。</p> <p>淡墨桜（JR東日本ポスター活用）、かんぴくん公園（大松山運動公園）、市内の社寺、市内のお祭りやイベント、市役所等の公共施設など</p> <p>○自分たちの住む町についてもっと知りたいという思いをもたせる。</p> <p>※テーマの一例として、「自分たちのすむ町について考えよう」「下野市について考えてみよう」等が想定される。</p> |
| 展開 | <p>2 教材を読んで考える。</p> <p>○「天平の花まつり」に行く前日、絵里子はどんな気持ちだったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんなショーがあるのかな。 ・何を食べようかな。 ・わくわくするなあ。 <p>○「天平の花まつり」に来た人たちはどんな思いをもっておまつりに来たのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんな事をやっているのか楽しみだな。 ・きれいな桜だなあ。 ・また見に来たいな。 <p>◎いいことを見つけた絵里子がにっこり笑顔だったのはなぜだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・淡墨桜がきれいだったから。 ・淡墨桜の事を知ることができたから。 ・来ている人たちが楽しそうだったから。 <p>補 「天平の花まつり」に出かける前の笑顔と会場での笑顔は同じ笑顔でしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出かける前は、食べ物が気になっていた。 ・ショーを観るのを楽しみにしていた。 ・ちょっと違うのかもしれない。 <p>3 自分の住む下野市のよさについて考える。</p> <p>○みなさんは、下野市のどんなところが好きですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園がたくさんあるところ。 ・古い神社やお寺があるところ。 ・いろんなおまつりがあるところ。 ・住みやすいところ。 | <p>○絵里子の表情や初めて訪れる場所に出掛ける時の気持ちに触れるようにする。</p> <p>○訪れる前は、娯楽的な要素に興味・関心が高かったことに触れることで、「いいこと」を見つけた時の気持ちと比較できるようにする。</p> <p>○お祭りに来る人の年齢が様々であることを補足することで、それぞれの楽しみにしていることは様々でありつつも、淡墨桜が楽しみの一つであること、淡墨桜の開花を楽しみに待つ人々がいることにも触れるようにする。</p> <p>○絵里子が見つけた「いいこと」とは何か考えることを通して、自分の住む町に淡墨桜という誇れるものがあることに気付いた絵里子の思いに触れさせる。</p> <p>○訪れる前日の笑顔との比較を通して、淡墨桜に寄せる絵里子の思いを考えられるようにする。</p> <p>○導入で掲示した写真や伝え合ったことを振り返ることで、自分の体験を思い出し、身近にある下野市のよさに触れることができるようにする。</p> <p>○日常の生活を想起させることで、自分が好きだと思うことは、普段の生活の中にもあることに気付かせる。</p> |
| 終末 | <p>4 本時の学習を振り返る。</p> <p>○（下野市に関係することで）やってみたいことや楽しんでみたいことを考えてみましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「天平の花まつり」に行って、淡墨桜を見たい。 ・かんぴくん公園に行って遊びたい。 ・下野市のいろんな建物を見に行きたい。 ・家の人に、下野市のことを教えてあげたい。 | <p>○友達が楽しみたいことを聞き、それぞれの考えの違いに触れさせることで、多面的・多角的に捉えられるようにする。</p> <p>☆『下野ふるさとかるた』を紹介する。（数枚を拡大コピーして、絵札や読み札が見やすいようにしておくとい。）</p> |

(4) 授業実践を通じた教材の見直し

授業活用例の作成後は、作成した教材や活用例を使用して実際に授業を実践した。児童生徒の反応を振り返り、ねらいの達成のための要件を満たしているか、随時、教材や展開例の見直しを行った。併せて、画像や挿絵等の補助資料についても、効果的な使用場面の検討や修正を行った。



4 成果と課題

(1) 成果

- ・地域教材の作成は、教師自身が下野市の歴史や自然、特産物等の下野市のもつよさや魅力について理解を深めたり、地域の人々の思いを感じたりするよい機会となった。
- ・地域教材の活用は、道徳科のねらいを達成させるとともに地域に対する関心を高めたり、理解を深めたりすることに有効であることが授業の実践を通して確認できた。
- ・各校で実践しているふるさと学習と関連させながら地域教材を取り扱ったことで、児童生徒のふるさとへの愛着の醸成につながった。

(2) 課題

- ・題材に関連する人材に授業に関わっていただくなど、地域の人材活用の視点からの指導の工夫を研究していく余地がある。
- ・活用例は一つの例であり、教材を通して児童生徒が何を考えたいのかを想定しながら授業を組み立てていくなどの柔軟な活用ができるよう発信していく必要がある。

